

2017年10月25日

浅草と東京スカイツリーエリアを“つなぐ”色彩の架け橋が誕生！

## 浅草～とうきょうスカイツリー間 隅田川橋梁の ライトアップを実施します！

東武鉄道株式会社

東武鉄道（本社：東京都墨田区）では、2018年4月上旬（目途）から、東武スカイツリーライン 浅草～とうきょうスカイツリー間の隅田川橋梁でライトアップを実施します。

これは、「東武グループ中期経営計画2017～2020」において、浅草・東京スカイツリーエリアの賑わいの創出と回遊性の向上を目指しており、その一環として、東京都にご支援をいただき実施するものです。「浅草」や「東京スカイツリータウン<sup>®</sup>」はそれぞれ年間3,000万人が訪れるエリアであり、その間に位置する隅田川橋梁をライトアップすることにより、相互のエリア間の交流や国内外の観光客の誘致を推進します。

ライトアップについては、「四季折々、浅草と東京スカイツリー<sup>®</sup>をつなぐ色彩の架け橋」をコンセプトとし、日々のライトアップは、東京スカイツリーの「粋」「雅」「<sup>のほろ</sup>職」の3つのライティングをイメージした同系色とすることで、東京スカイツリーのライティングとのコラボレーションを日替わりで楽しんでいただけます。また、隅田公園桜まつりなど、四季折々行われる地域のイベント等、その時々に応じたライトアップも行います。

当ライトアップは、東京スカイツリーの展望台や、都内屈指の桜の名所である隅田公園、隅田川を運行するクルーズ船等、浅草・東京スカイツリーエリアの様々な場所からご覧いただくことができます。また、当社では浅草～とうきょうスカイツリー間の高架下においても、賑わい創出にむけた開発計画を検討しており、両エリア間を回遊できる観光地として一体化し、伝統・文化と先進性が融合した観光地を目指していきます。

概要は別紙の通りです。

以上



△隅田川橋梁（隅田公園より）



△東京スカイツリーのライティング  
とのコラボレーション（イメージ）

「東武スカイツリーライン 隅田川橋梁ライトアップ事業」概要について

- 1 名称 「東武スカイツリーライン 隅田川橋梁ライトアップ事業」
- 2 コンセプト 四季折々、浅草と東京スカイツリー®をつなぐ色彩の架け橋
- 3 ライトアップ場所 隅田川橋梁  
(東武スカイツリーライン浅草～とうきょうスカイツリー間)
- 4 ライトアップ開始時期 2018年4月上旬(目途)
- 5 ライトアップ時間 毎日 日没～終電まで(予定)
- 6 ライトアップイメージ

日々のライトアップは、東京スカイツリー®の「粋」「雅」「幟」の3つのライティングをイメージした同系色とすることで、東京スカイツリーのライティングとのコラボレーションを日替わりで楽しんでいただけます。また、隅田公園桜まつりなど、四季折々行われる地域のイベント等、その時々に応じたライトアップも行います。



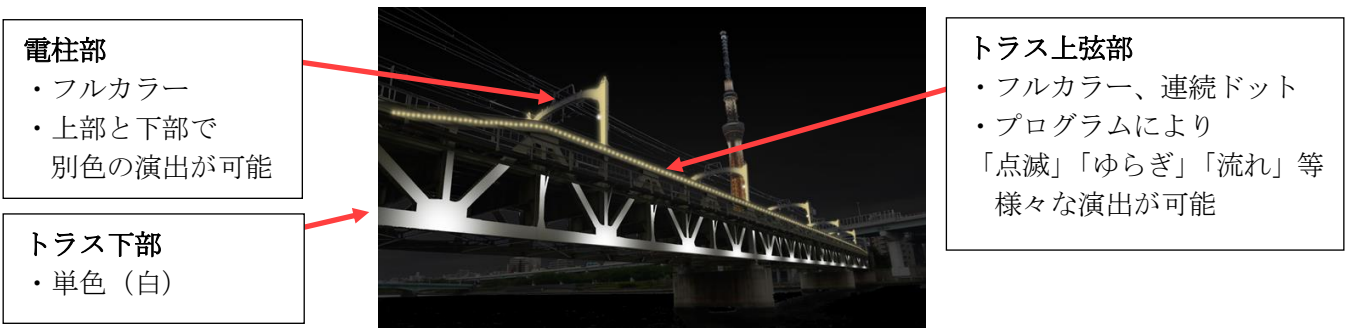
△東京スカイツリーのライティングとの  
コラボレーションイメージ



△隅田川周辺の桜とのコラボレーションイメージ

7 ライトアップのポイント

電柱部やトラス上弦部にはフルカラー照明を使用して様々な演出が可能です。また、ライトアップには、全てLED照明を使用し環境に配慮します。



以上

<参考>

隅田川橋梁について

隅田川橋梁は、東武スカイツリーライン 浅草～とうきょうスカイツリー間の隅田川に架かる、昭和6年開通の歴史ある鉄道橋です。車窓の景観への配慮から、国内では珍しい中路橋※1という構造であり、その歴史の深さと希少性の高さから、鉄の橋百選※2に選ばれています。

所在地：東京都 台東区・墨田区、構造：複線中路カンチレバーワーレントラス（3径間）

橋長：166.116m、着工：昭和2年、竣工：昭和6年

※1 中路橋とは、橋にかかる荷重を支持する部分（隅田川橋梁の場合、軌道部分）が、主桁（トラス部分）の中間に位置する橋梁です。

※2 鉄（かね）の橋百選とは、土木学会が明治から戦前に架けられ現存（平成6年時点）する橋のうち、時代の英知を傾けて架けられた著名な橋を厳選したものです。

東京スカイツリー®のライティングについて

タワー中心部を淡いブルーで照らし出し、江戸の心意気を表現した「粋」、タワーの外側を江戸紫と金箔をイメージしたイルミネーションで彩り、江戸の美意識を表現した「雅」、古来より縁起の良い色とされてきた橋色（橙）を基調とし、縦のラインで3つの面に区切られた垂直性を強調したデザインの「幟」の3種類を日替わりで点灯しています。

以上